

## 指定管理施設モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市たびら昆虫自然園
	所在地	平戸市田平町荻田免1628番地4
	所管課	観光課
指定管理者	名称	一般財団法人 平戸市振興公社
	所在地	平戸市田平町里免27番地1
	業務内容	平戸市が所有する公の施設の管理運営等
ホームページURL		<a href="https://www.hira-shin.jp/">https://www.hira-shin.jp/</a>
指定期間		令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

### 2 施設の利用状況等について

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
開館等日数(日)	281	315	314	310	
利用者数(人)	8,480	9,641	12,952	9,456	
前年度比(人)	△ 1,757	1,161	3,311	△ 3,496	
前年度比(%)	82.8	113	134	73	
利用料金(千円)	2,284	2,559	3,459	2,495	
前年度比(千円)	△ 437	275	900	△ 964	
前年度比(%)	83.9	112	135	72	

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

### 3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	年度
収入	指定管理料	15,354	15,491	14,826	14,694	
	料金収入	2,284	2,559	3,459	2,495	
	自主事業収入	21	116	141	189	
	その他の収入	1,228	805	4,973	3,475	
	計	18,887	18,971	23,399	20,853	
支出	人件費	12,677	12,780	12,911	11,948	
	維持管理経費	3,103	3,267	3,416	4,623	
	自主事業経費	45	40	379	124	
	その他の経費	2,936	3,647	3,515	4,811	
	計	18,761	19,734	20,221	21,506	
収支(収入-支出)		126	△ 763	3,178	△ 653	

### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)

実施時期: 通年

具体的な方法: アンケートBOX、ホームページお問い合わせ等

利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
意見：別紙 アンケート集計 参照 対応：意見のうち施設で対応可能な以下のものについて取り組んで行く。 意見 ① 虫を増やして欲しい。虫と触れ合いたい。 対応・・・カブトムシの養殖について検討する。視察研修から始める。 意見 ② 園を掃除するイベントを実施して欲しい。 対応・・・64虫まつりをウィークイベントとして実施する中で、現在職員が行っている園内の整備作業を利用者参加型のイベントとして実施する。(令和6年度から)
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
園の里山環境を最大限に活かせる様、64虫まつりや夜の観察会、有料会員「昆虫クラブ」の通年体験事業、冬のフェスタなどを自主事業として実施した。また、県外(大分県)の昆虫収集家による標本展を試み、県外への園の情報発信を行い利用促進を図った。そのほか、クラウドファンディングの支援金により電動車椅子を配置した。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容
入園者不在時の電気消灯や園内除草作業を自前で実施するなどの経費削減に加え、クラウドファンディング等の支援金を活用して研修棟の給排水整備を行うなど整備費用の削減にも努めた。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
自主事業として実施した観察会やイベントなどでは主に平戸市内の小学生家族の参加が増加してきている。新たに実施した「冬のフェスタ」は冬季集客として平戸市民はもとより県外のファミリー層にも定着していくのではないかと手ごたえを感じている。また、クラウドファンディングの支援金を活用して新たに設置したカマキリのモニュメントも撮影スポットとして好評である。これらの反応から、現在実施している自主事業は入園者増に著実に繋がっていくものと捉えている。今後は営業力を強化し、情報発信も工夫しながら増収に向け取り組み収支改善に繋げて行きたい。

#### 7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上
クラウドファンディングによる観察ゾーンの整備による安全性の向上、電動車椅子の導入による利便性の向上。
経費削減の取組
クラウドファンディングを活用した整備
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
令和4年度は30周年記念式典などにより大幅に入場者が増加していたこともあり、令和5年度は昨年度より入場者数が減少しているが、新たにイベントを開催するなど積極的に取り組んでおり、今後も整備と誘客に努めていただきたい。

総合評価	A
------	---

#### ※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。